

# 榎の木だより

2023年10/1

第112号

ひとりひとりひかる

# きぼろ

発行：榎の木福祉会（法人本部）

かしの木の会

一宮市富田字砂原 2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

榎の木福祉会 ホームページ

http : [www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



榎の木盆踊りを楽しむ皆さんの様子。

素敵な笑顔で溢れていました。

右上：夜空に浮かぶスカイランタン



## 【 目 次 】



- 1P 表紙写真
- 2P 榎の木盆踊り
- 3P おやマルシェ
- 4P グループホーム
- 5P 店舗取材 café ふうらっと
- 6P 福祉会情報、お知らせ

## 法人コーナー①

### 令和5年度 榎の木盆踊り 「Reborn kashinoki BonOdori」



これまで3年間に渡って猛威を振るったコロナ禍が今年に入って終息に近づいたこともあり、榎の木福祉会として8月10日（木）の夕方から福祉会の法人本部周辺で盆踊りを開催しました。

テーマは「Reborn kashinoki BonOdori」と題しました。「Reborn」とは、「再生した」「生まれ変わった」という意味で、コロナ自粛を経て開催場所を本部周辺に変え、盆踊りの内容も見直し、最初から作り直す「生まれ変わった盆踊り」となりました。

メインとなる盆踊り会場では上手に踊った方や楽しく踊った方に景品をお渡しする「踊りのコンテスト」を開きました。また、踊りのボランティアさんを交えてみんなで楽しく踊ることができました。踊りを忠実に真似て頑張る方々、踊りのリズムに合わせて自由に体を動かす方もいてそれぞれの楽しみ方で参加されていました。



別会場ではサブステージを設置して、盆踊りと並行してお子様向けのビンゴゲーム大会や地元のシンガーソングライターさんによる屋外ライブを行ないました。ビンゴゲームでは抽選された数字に一喜一憂する方がいたり、ライブでは落ち着いた雰囲気の中で歌に聴き入る方がいたり、盆踊りとは一味違った内容で楽しむことができました。

更に、盆踊りに華を添える模擬店では3台のキッチンカーに出店協力をいただいたほか、法

人内の各事業所から焼きそばや焼き鳥、フランクフルトなどの飲食物販売や、花苗販売やゲームコーナーを設置して会場を彩りました。

たくさん出品された食べ物をたくさん食べて過ごされる方や、商品を吟味して何店舗も見て回られる方など、食に対する個性も見ることができました。



4年振りに福祉会行事として開催された盆踊りは法人内各事業所の利用者さんや職員、更には富田地区にお住まいの方を中心に500名を超える方々の参加により、終始にぎやかな雰囲気での盆踊りになりました。

盆踊りの最終盤にはスカイランタンを空に放つイベントを設けました。30基を超えるスカイランタンは台風による風の影響を受けるため予定していた高度まで上げることはできませんでしたが、手から放たれたランタンは幻想的に夜空に舞い上がり、感動的なフィナーレを飾りました。

今回の盆踊り開催にあたっては、地域のボランティアさんや地元自治会の皆さまをはじめ、協力いただいた多くの皆さまのお陰で、盛大で楽しいイベントにすることができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。コロナ禍の影響を受け、屋外で楽しむ機会が減っていた中で、やっと開催することができた榎の木盆踊りで、日頃のストレスから開放された利用者さんや職員の笑顔、利用者さんたちが地域の皆さまと楽しく触れ合う姿をたくさん見ることができ、とても楽しい夜のひとときになりました。

かしの木の里 生活支援員 鹿島隆好

## 法人コーナー②

### おやマルシェ 開催報告

令和5年7月22日(土)。昨年好評を博した『おやマルシェ』を今年度も開催いたしました。地域交流を目的としたこのマルシェには、町内の方達や、地域企業様・地域団体様等々、たくさんの方達が集まって、楽しい一日となり、素敵な交流の場とすることができました。

ご来場くださいました地域の皆様や、ご協力いただきました地元企業様や地元団体様には、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。そして、暑い中、少数で頑張ってくれたチャイブスタッフの皆さん。本当にありがとうございました。



今年も『ご縁』に感謝です。第2回となる『おやマルシェ』。昨年は初開催ということもありキッチンカー等の出店団体さんへの呼びかけには苦労しましたが、今年は早い段階から開催確認のご連絡がありました。出店希望やステージ出演希望等、昨年のご縁から、新しいご縁へとたくさんつながっており、そんなみなさんと一緒にお祭りをつくりあげていくような感じで、2回目の『おやマルシェ』ができあがっていきました。

地域の方の協力による会場設営やステージ出演者同士での機材準備。地域での臨時駐車場借用等へのご協力。みんな本当に感謝です。参加者によるステージ構成や企画、DJの起用による会場の雰囲気づくり。キッチンカー同士の連携や協力。販売スタッフも一緒になって歌ったり、踊ったり、みんなで会場を盛り上げてもらえました。

ディアボロステージ(中国ゴマを巧みに操る芸)では準備段階からみていた事もあり、ドキュメンタリーを観ている様な感じで手に汗握り一喜一憂していました。



キッチンカー、販売ブースも昨年より出店数が増え、新しい試みとして様々な団体様にもご参加いただけました。ステージイベントも新たにいろんな事を発信していける場になったのではないのでしょうか。そんな皆様と一緒に素敵な『マルシェ』を開催することができました。

『地域交流』・『ご縁』・『つながり』が『おやマルシェ』の開催テーマ。チャイブでご縁がつながって、お客さん同士もつながって、参加者同士もつながって、新しい『ご縁』も広がって、またどこかで出会って、つながって…。

利用者さんにも新しい活動や社会参加へとつながっております。『地域に開かれたオープンスペース』という、チャイブの役割としての『地域交流』が一步一步進んでいくのを感じています。



皆様にとっても、この『おやマルシェ』が、素敵な『ご縁』と、『つながり』の場になりましたら幸いです。また次のマルシェでお会いしましょう。

かしの木サポートプラザ  
管理者 入山達也

## 法人コーナー③

### GHC かしの木 短期入所事業開始

グループホームの短期入所事業が今年7月から開所しました。平成25年にオリーブの家、平成26年にはなももの家が、それぞれのホームに短期入所ができるように建設され、両ホームとも翌年には開所されました。しかし、短期入所事業については、まず、職員体制が整わないことで開所時期が延期されました。その後も消防法の改正への対応のための消防設備の設置と対応不可能な賃貸ホームの整理、新しいホーム（あやめの家、なつめの家）の開所、それらに伴って利用者さんの大規模な住み替え等がありました。そして、コロナウイルスの大流行と優先しなければいけないことが予想以上に多く起こり、今年になるまで短期入所事業の開所を延期してきました。



その間にもグループホームの短期入所開所への要望と期待が多くあり、その声は直接的にも間接的にも耳に入ってくる状態でした。先に挙げた様々な課題については何とか乗り越えてきましたが、建設当初すぐに開所できなかった大きな理由である職員体制が整わないという、人手不足の課題が残りました。社会的にも広がる福祉の職場の人材不足が時間の経過とともにより深刻化していました。

GHC かしの木では一昨年からは、檜の木福祉会内の複数の事業所所属の職員がGHC かしの木との兼務をし、月に何度か2か所のホームの夜勤業務をはじめました。また、昨年より派遣会社を活用し、週に1~2回の夜勤業務を3か所のホームをはじめました。そのため、各ホームのマニュアル

の見直しをし、勤務の間が長くあいても対応できることと支援の質を落とさない工夫をしました。

その甲斐あって、今年7月にグループホームの短期入所事業が開始できることになりました。正式名称は「GHC かしの木短期入所事業 オリーブの家」と「GHC かしの木短期入所事業 はなももの家」です。定員はそれぞれ2名です。種類は短期入所併設型で、居室は個室です。居室以外の設備については共用になります。職員体制については、ホームの定員と短期入所の定員を合わせた人数に対して包括的に対応できるものになっています。

GHC かしの木短期入所の役割は、共同生活援助の利用等を通して、地域移行支援や親元からの自立等のための暮らしの体験の機会・場を提供することだと考えています。また、緊急時の対応も短期入所の機能として位置づけられています。オリーブの家、はなももの家共に短期入所利用者は、現在利用されている方と一緒に過ごすこととなります。知らない人同士のため、緊急時の突然の共同生活は大きな混乱を生む可能性があります。このことについては、同じ法人のかしの木の中の短期入所事業と連携を取り、その時その時に合った対応をしていきます。



GHC かしの木短期入所の申し込みは、オリーブの家の電話にて受け付けておりますが、日中は留守番電話にお名前と連絡先を入れていただき、夕方以降もしくは後日、連絡させていただこうと思います。

ようやくスタートしたグループホームの短期入所事業です。皆さんの暮らしを支えるためにスタッフ一同精一杯頑張っていきたいと思っております。

GHC かしの木 管理者 武田信之

# かしの木の会コーナー



「cafe ふらっと」に行ってきました

今回「cafe ふらっと」から販売されているプリンをご紹介しますため、お店に取材に行ってきました。

土曜日午前に訪れましたが、お客様も多く、予約しておいて良かったです。お客様はご近所から来られているのか、自転車や徒歩の方が多くいました。駐車場が隣接していてわかりやすい場所にあり、とても入りやすいお店です。職員さんと利用者さんが、共に働いているといった様子がとても伝わってきて、居心地の良い空間でした。杖を使われているお客様に、サッと手を差し伸べる職員さんの姿に、温かいお店の雰囲気を感じることができました。こんなところが地元のお客様から長く愛されている秘訣だと思います。

モーニングサービスをいただきました。ドリンクの種類も多く、サービスの選択肢もあります。サラダは人参も入っていてワンプレートにたくさん



の食材が入っているの  
で栄養のバランスも良  
さそうです。注文して  
から運ばれてくるスピ  
ードもはやく、おいし  
くいただきました。

職員さんの吉田さんからお話を伺いました

オープンから15周年の現在、当初から働いている利用者さんもいらっしゃる、お客様のことを良く知っていて、職員さんが教えてもらうこともあるとのことでした。利用者さんが「1人でできる」ように支援を進めていらっしゃるとのことでした。



メニューの工夫としては、固定にしているランチを、飽きがこないよう2ヶ月に1回新しいものに行っているとのことでした。

製菓部門は、以前檜の木作業所で行っていた部門をこちらに移し、クッキーとプリンを作っています。試行錯誤しながら作っている焼き菓子を、これからもっと広げていきたいとのことでした。

焼きたてのクッキーを試食させていただきましたが、シンプルな甘さで2枚目に自然と手が伸びていくおいしさでした。



かしの木の会 浅野雪香

『ふらっプリン』です

1年半ほど前に発売されたプリンです。「かため」と「なめらか」があります。

「かため」は老若男女問わず受け入れられ、昔から親しみのあるものです。カラメルがあることでだんだんと味が変わるのを楽しんでもらえます。

「なめらか」はスプーンでギリギリすくえるほどの柔らかさです。

生クリームを多めに混ぜこんであり、ひと口目の甘さが口の中に広がります。

店内でも食べられますが、持ち帰りも可能です。

名鉄百貨店一宮店の正面玄関前で開催されている「福祉マルシェ i・愛・逢マ

ーケット」においても販売しています。

ぜひみなさんもお堪能ください。

## 福祉会情報



# かしの木フェスティバル開催！！

今年度、イベント委員会を中心に近年できていなかった「盆踊り」「フェスティバル」開催に向け準備を進めてまいりました。色々な議論を重ねて、4年ぶりにかしの木フェスティバルが復活します。日時は令和5年11月25日（土）です。

久しぶりの開催にあたり課せられた使命はひとつ。とにかくみんなが楽しめるフェスティバルにすること。多少の無理難題と思いながら、現在準備中です。

かしの木フェスティバルは今回で20回目を迎えます。「つなごうてとて ひろげよう みんなのわ」というテーマで実施しております。さらに今年は久しぶりということもあり、熱意を込めてメインテーマの他にサブテーマとし「KASIFES EVOLUTION」としました。EVOLUTIONとは、「進化」という意味があります。フェスティバルの意味をもう一度見直し、関わる全ての皆様と一緒に楽しく、進化したフェスティバルとなるように頑張る準備していきます。

今回は従来よりも広く会場を使い、様々な体験や経験ができるようなイベントを行います。「メイン会場・スポーツ会場・アウトドア会場」と色々な会場を準備します。メイン会場は、従来通りの富田山グラウンドを会場にします。内容はステージイベント・模擬店・キッチンカー・フリマ・バザー・様々な車両展示等を行います。スポーツ会場は尾西河川敷グラウンドを会場とします。内容は広いグラウンドを使って、様々なスポーツや遊びを体験できるようにします。メイン会場隣りにあるアウトドア会場は、ウッドデザインパークの敷地を少しお借りします。内容は焚火を眺めたり、焚火でおやつ作りをしたりします。

その他、ものづくり体験や野菜販売などを予定しております。たくさんのイベントや体験をご用意しますので、様々な楽しみができると思っています。

かしの木フェスティバルは福祉会のなかでも1番といてもいいほど大きな行事です。その分、たくさんの方や団体が関わります。特に今回は会場を広げるために、場所の提供や協力をしていただきました。これから企画を進めていくなかで、たくさんの方の協力を必要としていきます。我々の思いに賛同して下さる方々と一緒にフェスティバルを盛り上げ、このイベントを成功させたいと願うばかりです。

従来であれば、6月から会議を重ね、開催に向けて準備を行いますが、今回は諸事情もあり8月ようやく1回目の会議を行いました。新しいことにチャレンジしますが、準備期間も短く、これから様々なことを積み重ねて開催に向けた準備を行っていきます。

かしの木フェスティバルにご来場いただく皆様に心から楽しんでいただけるよう、準備を行っていきます。我々フェスティバル実行委員も一緒に楽しみながら準備を行い、当日を迎えられたらと思っております。ぜひ楽しみにしてください。何よりも当日天候に恵まれ、楽しい日になることを願って1日1日を過ごしていきます。

フェスティバル実行委員長

榎の木園 管理者 加藤栄治

### お知らせ



#### —行事予定—

- びさいまつり 10/21(土)・10/22(日)
- かしの木フェスティバル 11/25(土)
- 一宮ボランティアフェスティバル 10/15(日)

#### —バックナンバーをさがしています！！—

現在、広報委員会では広報誌のバックナンバーをHPに掲載する作業を進めていますが、平成10年頃発行の第12号が欠けており掲載することができていません。もしお持ちの方がおられましたら福祉会法人本部(0586-63-2111)までご連絡をお願いします。